

神流川沿川地域にお住まいの皆様

筑波大学 都市防災研究室

『水害に対する住民意識・避難意向に関するアンケート調査』ご協力をお願い

■はじめに

近年、気候変動による豪雨の増加により、全国各地で水害が相次いでおります。2018 年に発生した西日本豪雨や、2019 年に発生した台風 19 号（通称：令和元年東日本台風）は、特に広い範囲で物的・人的被害をもたらしました。また、近年でも台風や線状降水帯による豪雨などが頻発しており、水害対策は全国どの地域においても喫緊の課題です。

こうした環境下において、水害に対する住民の皆様の認識を把握し、防災対策に活かすことは、将来発生しうる水害やそれによって生じうる被害を抑制することに繋がります。

そこでこの度、神流川沿川地域にお住いの住民の皆様が、水害に対してどのように捉えていらっしゃるのか、また、水害発生時の避難行動などについてお聞かせいただきたく、アンケートへのご回答をお願いいたします。この成果は、今後の水害に関する情報提供や防災広報などへの知見として活用していく予定です。

なお、本調査の結果は統計的に処理した上で、今後の防災対策のための資料として用いるのみですので、皆様の個人情報特定されることや、流出するようなことは決してありません。

お忙しいところ、大変恐縮ではございますが、このような趣旨をご理解いただき、本調査にご協力くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

■アンケートへの回答をお願いしたい方

家族の意見を代表される方が、お一人で回答頂きますようお願いいたします。

■記入方法

回答記入方法は設問の回答欄において、あてはまる項目の番号に○を付けてください。

例) 問 2 2 年齢についてお答えください。

(1 つに○)

☒ 1. 10 代 2. 20 代 3. 30 代 4. 40 代 5. 50 代 6. 60 代 7. 70 代以上

※自分の答えが回答欄の「1. 10 代」であれば「1」に○を付けます。設問文の最後が（上記の例のように）「1 つに○」の場合は回答欄から 1 つだけ○を、「いくつでも○」の場合にはあてはまるもの全てに○を付けて下さい。

■アンケートのご返送について

回答頂きましたアンケートは、このアンケートに同封しております返送用封筒に入れて、11 月 30 日(木)までにご返送下さるようお願いいたします。

■お問い合わせ先



初めに、治水施設や災害時の行動に関してお尋ねします。

問1 (1)～(6)までの治水施設がもっている役割を、どの程度ご存じですか。 (各1つに○)

	全く知らない						よく知っている					
(1)水門	1	—	2	—	3	—	4	—	5	—	6	7
(2)河川堤防	1	—	2	—	3	—	4	—	5	—	6	7
(3)防波堤	1	—	2	—	3	—	4	—	5	—	6	7
(4)ダム	1	—	2	—	3	—	4	—	5	—	6	7
(5)貯水池	1	—	2	—	3	—	4	—	5	—	6	7
(6)ポンプ場	1	—	2	—	3	—	4	—	5	—	6	7

問2 治水施設の一つであるダムについて、どのように感じられますか。日ごろのお考えをお答えください。

(各1つに○)

危険だ	1	—	2	—	3	—	4	—	5	—	6	7	安全だ
脅かす	1	—	2	—	3	—	4	—	5	—	6	7	守る
堅牢だ	1	—	2	—	3	—	4	—	5	—	6	7	脆弱だ

問3 ダムについて、経験したことのある内容をお答えください。

(いくつでも○)

1. ダムの見学	2. 放流の見学	3. ダム関連施設の訪問	4. ダムに関するセミナーや説明会参加
5. ダム湖でのレジャー体験	6. ダム関連の就業経験	7. 経験したものはなし	

問4 「ダムの緊急放流」と聞いて、どのような放流の様子をイメージしますか。

(1つに○)

1. 下流の地域に被害を出さない量の水を放流すること
2. ダムから水があふれないように、上流から流れてくる水を下流に通過させること
3. ダムに貯まった水を徐々に減らすこと
4. ダムに貯まった水を全て流すこと

問5 「ダムの緊急放流」について、以下から正しいものを選択してください。

(いくつでも○)

1. 緊急放流は下久保ダムでも実施しうる	2. 緊急放流が行われても下流域では被害は発生しない
3. 緊急放流はダムの水を全て流す操作だ	4. 緊急放流が行われるときには、事前に通知される
5. たとえ緊急放流が行われても、ダムの治水効果は一定程度ある	

問6 他地域の緊急放流の事例を知っていますか。

(1つに○)

1. 知っている (内容: _____)	2. 知らない
----------------------	---------

問7 緊急放流を意識することはありますか。

(1つに○)

1. 普段から意識している	2. 大雨が降ると意識することがある
3. 放流の情報が流れると意識することがある	4. 今までに意識したことはない

問8 もし下久保ダムで緊急放流が行われると聞いたら、どのように情報を手に入れますか。 (いくつでも○)

1. 実際にダムや川を見に行く	2. 近所や知り合いに尋ねる	3. TV・ラジオを確認	
4. 防災無線を聞く	5. SNSを確認	6. 行政のウェブサイトを確認	7. 情報は取り入れない

問 9 地域に大雨が降り(1)～(6)の状況になったとき、避難を開始しようと思いますか。 (各1つに○)

	絶対に避難しない	必ず避難する
(1) 河川の水位が 氾濫危険水位に達したとき	1 — 2 — 3 — 4 — 5	
(2) 自治体から避難指示 (警戒レベル4)が出されたとき	1 — 2 — 3 — 4 — 5	
(3) ダムが緊急放流を行う と知ったとき	1 — 2 — 3 — 4 — 5	
(4) 自宅の床下浸水が 始まったとき	1 — 2 — 3 — 4 — 5	
(5) 自宅の床上浸水が 始まったとき	1 — 2 — 3 — 4 — 5	
(6) 近所の住民が避難を開始している ことを知ったとき	1 — 2 — 3 — 4 — 5	

問 10 下久保ダムで緊急放流が行われると聞いたとき、どのように行動しますか。 (いくつでも○)

1. すぐに避難所に向かう	2. 避難準備を始める	3. (家族と)避難を検討する
4. 近所の避難の様子をうかがう	5. 行政に問い合わせる	6. ダムや川の様子を見に行く
7. その他(具体的に: _____)	8. 何もしない	

問 11 緊急放流が行われるときに伝えてほしい情報や、緊急放流についてわからないことがありましたら
お書きください。 (自由記述)

問 11 までの回答を終えられた方は
次のページへお進みください。

※これ以降、問 11 までの質問の回答の変更はお控えください。 ※

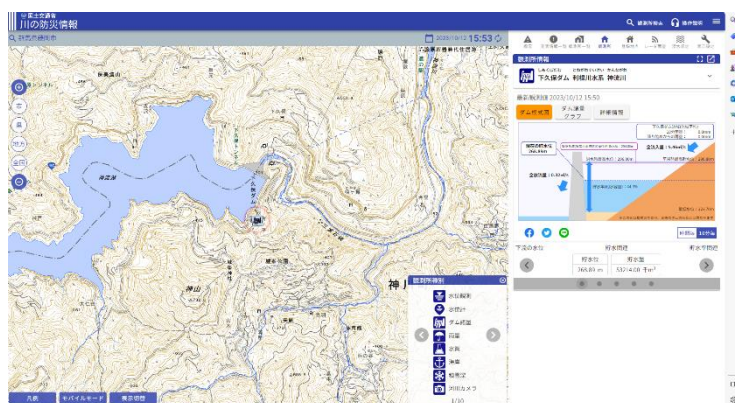
ダムの『緊急放流』とは

ここでは、ダムの緊急放流について紹介します。

治水ダムでは、大雨が降ってダムが満杯になってそれ以上水を貯めきれなくなると、決壊や越水を防ぐため緊急放流を行うことがあります。この時、ダムに入ってくる水の量とダムから出ていく水の量は同じになります。

下久保ダムでも、すべてのゲートを開いて緊急放流をおこなう可能性があります。緊急放流が行われると神流川の水かさが増え、場合によっては下流地域に影響を及ぼすことがあります。

緊急放流の際は、事前に予告情報が発表されます。 日ごろから最新の情報を確認し、危険を感じたらすぐに逃げるのが大切です。



川の防災情報



下久保ダム HP



緊急放流実施時には、数時間前から**危険を知らせるため情報**が発信されます。
この情報はメディアや自治体 HP、ホットメールなどで確認できます。

また上記の WEB サイトは、災害時はもちろん**普段からダムや河川の状況を確認**することができます。

問 1 2 前ページの説明文の情報は理解されましたか。 (1 つに○)

全く理解できなかった	1	2	3	4	5	6	7	よく理解できた
------------	---	---	---	---	---	---	---	---------

問 1 3 前ページの説明文の情報はわかりやすかったですか。 (1 つに○)

とても分かりにくかった	1	2	3	4	5	6	7	とても分かりやすかった
-------------	---	---	---	---	---	---	---	-------------

問 1 4 前ページの説明文の情報は実際の状況をイメージしやすかったですか。 (1 つに○)

イメージしにくかった	1	2	3	4	5	6	7	イメージしやすかった
------------	---	---	---	---	---	---	---	------------

問 1 5 前ページの説明文の情報には難しい表現があると感じましたか。 (1 つに○)

全く感じなかった	1	2	3	4	5	6	7	とても感じた
----------	---	---	---	---	---	---	---	--------

問 1 6 (1)～(6)までの治水施設がもっている役割を、どの程度ご存じですか。 (各 1 つに○)

	全く知らない	1	2	3	4	5	6	7	よく知っている
(1)ポンプ場	1	2	3	4	5	6	7		
(2)貯水池	1	2	3	4	5	6	7		
(3)ダム	1	2	3	4	5	6	7		
(4)防波堤	1	2	3	4	5	6	7		
(5)河川堤防	1	2	3	4	5	6	7		
(6)水門	1	2	3	4	5	6	7		

問 1 7 ダムについて、どのように感じられますか。 日ごろのお考えをお答えください。 (各 1 つに○)

堅牢だ	1	2	3	4	5	6	7	脆弱だ
危険だ	1	2	3	4	5	6	7	安全だ
脅かす	1	2	3	4	5	6	7	守る

問 1 8 「ダムの緊急放流」と聞いて、どのような放流の様子をイメージしますか。 (1 つに○)

1. 下流の地域に被害を出さない量の水を放流すること
2. ダムから水があふれないように、上流から流れてくる水を下流に通過させること
3. ダムに貯まった水を徐々に減らすこと
4. ダムに貯まった水を全て流すこと

問 19 地域に大雨が降り(1)～(6)の状況になったとき、避難を開始しようと思いますか。 (各1つに○)

	絶対に避難しない	必ず避難する
(1) 河川の水位が 氾濫危険水位に達したとき	1 — 2 — 3 — 4 — 5	
(2) 自治体から避難指示 (警戒レベル4)が出されたとき	1 — 2 — 3 — 4 — 5	
(3) ダムが緊急放流を行う と知ったとき	1 — 2 — 3 — 4 — 5	
(4) 自宅の床下浸水が 始まったとき	1 — 2 — 3 — 4 — 5	
(5) 自宅の床上浸水が 始まったとき	1 — 2 — 3 — 4 — 5	
(6) 近所の住民が避難を開始している ことを知ったとき	1 — 2 — 3 — 4 — 5	

問 20 下久保ダムで緊急放流が行われると聞いたとき、どのように行動しますか。 (いくつでも○)

1. すぐに避難所に向かう	2. 避難準備を始める	3. (家族と)避難を検討する
4. 近所の避難の様子をうかがう	5. 行政に問い合わせる	6. ダムや川の様子を見に行く
7. その他(具体的に: _____)	8. 何もしない	

最後にあなた自身についてお尋ねします。

問 21 性別をお答えください。 (1つに○)

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

問 22 年齢についてお答えください。 (1つに○)

1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代	6. 60代	7. 70代以上
--------	--------	--------	--------	--------	--------	----------

問 23 同居されているご家族の人数を自分も含めてお答えください。

() 人

問 24 家庭内での1人では避難が困難になる方(乳幼児・高齢者・体の不自由な方など)の有無とその人数をお答えください。 (1つに○)

1. あり() 人	2. なし
------------	-------

問 25 現在のお住まいでのおおよその居住年数をお答えください。

() 年

問 26 今までの人生で経験されたことのある、水害による住まいの被害をお答えください。 (いくつでも○)

1. 全壊	2. 半壊	3. 一部損壊	4. 床上浸水	5. 床下浸水	6. 断水	7. 停電
8. 下水逆流による汚損	9. その他(具体的に: _____)	10. なし				

***** アンケートは以上になります。 ご協力ありがとうございました。 *****